

# 高齢者が安心して暮らせる 社会づくりのために

みなさんは、高齢者に対してどのようなイメージを持っているでしょうか。内閣府の調査によると、「経験や知識の豊かさ」などで肯定的にとらえている反面、「健康や経済面での不安が大きい」など、否定的なイメージでとらえている割合が高くなっています。

高齢者をネガティブにとらえてしまうことの背景には、「衰えたもの」、「保護されるべきもの」など、マイナスの、それも画一化されたイメージでとらえている点が考えられます。しかし、実際は、高齢者の9割は元気で活躍している人たちであり、働いたり、地域活動等に参加したりする方も多く、ライフスタイルや価値観もさまざまです。豊かな知識と経験をもとに、これからも社会に貢献したい、地域の人たちと交流したい、趣味を楽しみたい、残りの人生を自分らしく飾りたいという思いは、どの時期にもまして切実な願いといえるでしょう。

高齢者がいきいきと安心して暮らせるためには、『健康』の保持・増進、『福祉』の充実、『生活資金』の確保などとあわせて、『人権』が尊重される社会づくりが重要な要素になってきます。それは、高齢者が「尊厳ある人生」を全うすること

につながるからです。

しかし、現実には、高齢者をめぐるさまざまな人権侵害や差別事案が後を絶ちません。①高齢者に対する就職差別の問題、②介護者による身体的・心理的虐待の問題、③財産処分に対する経済的虐待の問題、④認知症に対する偏見や差別の問題などは、その代表的なものです。これらの問題に共通するのは、年齢というフィルターを通して高齢者を一律に決めつけていることや、誤った情報や理解の仕方によって、偏見や差別を生み出していることです。また、介護者による虐待の問題については、相手の気持ちを尊重し、やりやすい介護をすること、一人任せにするのではなく、複数の目で見たり、協力して対応したりすることが大切です。

人間、誰でも歳をとれば、体力や記憶力が落ちてきますし、寝たきりの生活を余儀なくされることもあります。しかし、どのような状況にあったとしても人としての誇りを失うことはありません。そこには、年齢を重ねるごとに味わった思い、それぞれの人生があります。その人生の思いに、私たちはどれだけ寄り添っていくことができるでしょうか。

「二部の人々を締め出す社会

はもろくて弱い」と言われています。高齢者がいつまでも人としての尊厳を保ち、安心して暮らせる社会を実現することは、取りも直さず、全ての人の人権が尊重される社会づくりにつながることで、そして、かけがえない私たちの人生をもっと豊かに、もっと幸福なものへと導いてくれるのではないのでしょうか。

## ご案内

### 「第3回人権教育学級」

【日時】 11月10日(金)

午後2時から4時まで

(受付開始：午後1時30分から)

【場所】 サウンドハウスホール

#### 【演題】

「いのちの重さを見つめ続けてきた22年」

#### 【講師】

グリーンパートナー歩み

代表 本郷 由美子さん

市教育委員会生涯学習課

人権教育推進室(新教育庁舎2階)

☎ 32・3814

FAX 33・1230

✉ jinkenkyouiku@city.komatsushima.tokushima.jp

## 市民文芸 花みずき歌壇 (408) 山崎泰子・選

いちだんと暗く暮れゆく椎の森まとうは闇色ばかりにあらざ

小松島町 萬宮千鶴子

夢のなか鳥の眼となりふるさとの祭りの杜へ急降下せり

横須町 天王谷 一

ワンオクのライブを終えて感動をギョツと詰め込むエレベーターは

中田町 湯浅 百世

南へとわれ誘うごとつばくらめ近づくと見せ遠く飛び去る

田浦町 西 教明

ゆうぐれの朱に染まりし羊雲 友と遊びし日日を思おゆ

松島町 萬野 行子

異次元の世界とも見ゆ大型のバイクの爆音を通路は残す

立江町 湯浅かや子

白玉の古式ゆかしきデザートも病の妻は目で食べており

中田町 多田 健児

満開の庭のつじに蝶は飛ぶこの平安の先へ続けと

赤石町 田原トシ子

若き日より脳に刻まれし「晶子」の詩聞きつつ恋うるとき弟も

江田町 深田 伴子

「またくるね」必ず来てね「不可能の指をからませ指きりげんまん

中田町 松並 敦子